

出荷基準と適正な栽培管理を確認

～トマト販売説明会と栽培講習会～

黒石青果センターは8月30日、トマト販売説明会と栽培講習会を開き、生産者21人が参加。秋のトマト収穫に向けて、出荷基準と裂果軽減などの栽培を確認した。

中南地域農林水産部農業普及振興室の阿部眞也主査が今後の栽培管理などを説明。「30℃以上の気温が3日ほど続くと裂果が発生する傾向がある。今後も定期的なかん水や保温などの対策をし、裂果発生軽減に努めてほしい」と指導した。またオオタバコガの発生が9月上旬にピークを迎えるため徹底した薬剤散布を行うよう呼び掛けた。

同センターの齋藤寿徳統括は見本で出荷規格を説明し、生産者は確認した。



トマトの出荷規格を確認する生産者

着色など出荷基準を確認

～早生りんご「つがる」山選果基準会～

黒石青果センターは8月23日、早生りんごの中心品種「つがる」の収穫に向けて、管内5力所で山選果基準会を開いた。

山形りんごセンターには生産者約40人が参加。出荷規格や品質基準などを確認した。

村上勝憲販売担当常務は「事故やケガに十分注意し、今後の着色管理、収穫作業を行ってほしい」と呼び掛けた。

黒石青果センターの信平幸誠主任は「つがる」の見本を手に取り、着色や大きさ、さび果、ツル割れなどの出荷基準について説明。「着色、大きさなどの出荷基準を確認して選果作業を行ってほしい。さびや傷には十分注意する」と呼び掛けた。



早生「つがる」の出荷規格の確認をする生産者

夏野菜を食べよう

～JAカルチャー講座「夏季料理教室」～

当JAは8月23日、JA本店で夏野菜を使った夏季料理講座を開いた。冬期間に行っている趣味の講座「JAカルチャー講座」の料理受講生の22人が参加。同講座を受講した人から夏にも料理講座を開いてほしいというリクエストが多い人気の教室だ。

料理研究家の水嶋優子さんを講師に迎え、トマトやピーマン、なすなど夏野菜を使った7品を作った。

参加者は「水嶋先生のレシピは簡単でおいしい。畑で採れた野菜を使って、レポートを広げることができるのでうれしい」「自宅にある調味料を使って簡単に作ることができる。安くて、おいしくて、素早くできるので気に入っている」と満足そうに話した。



夏野菜を料理する参加者

盆用花買い求め大盛況

～ふれあい市 花売り出し～

女性部みなみ支部田舎館班直売所部会が運営する「ふれあい市」は8月11日、田舎館園芸センターで盆用花の売り出しを行った。

部員らが栽培した「トルコキキョウ」や「グラジオラス」などの花を1束一律200円で販売。会場には新鮮な花を買い求めるため約100人が列を作り、開店直後瞬く間に完売した。

購入者は「品質の良い花を購入できるので毎年来ている。今年もきれいな花を購入することができて良かった」と話した。

売り出しは13日まで行われ、期間中は花を買い求める来場者で大盛況であった。



花を買い求める来場者（右）